

はなを
しょくした

華を喰した 影の露

かげのつゆ





はなを
しょくした

華を喰した 影の露

かげのつゆ



影柚月（人格）

柚月の人格。
髪が白いだけで容姿は
柚月と大して変わらない。
ただ、椿のことが恋愛対象として
好意を持っており
椿を自分のものにしたいくて仕方なく閉じ込めた。
所謂今回の原因野郎。

登場人物

^{アヲキ} 天里家の双子

彼らは『血の繋がった』双子である。
絵本の物語の世界によく迷い込む。
今回の世界はどのようなものになるのか……。

椿（ツバキ）

双子の弟（今回は受け）
兄の柚月のことが恋愛対象として好きで
彼の心身ともに自分のものにしたいという
『ユヅル・イズ・マイン』
を掲げている限界ヲタク。
今回は巻き込まれる。



柚月（ユヅル）

双子の兄（今回は攻め）
元気で明るくガサツでぞしておバカ。
弟のことはどうやら（この話では）
恋愛対象として見ているようではあるが
影柚月の存在がいることにより
恋愛対象として見れないかわいそうな人。
影柚月の存在はあまり認知していない。

回想 -かいそう-

文武両道、眉目秀麗な男子高校生である
【天里椿（トハキ）】は、その恋情が禁忌である
知りながらも、双子の実兄である
【天里柚月（ゆづる）】に恋心を抱いていた
恋心を自覚しからは、兄への劣情を執着を
した隠しにし、けれどもこゝか淡い期待を
抱いたまま、繰り返す日常をただただ
幸せに送っていた。

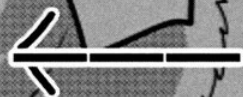
そんな繰り返しのある日のこと、双子の兄弟は
どこにも不思議な夢を見た。
椿の花が散華する、純白の机のみが置かれた
どこも質素な部屋。そんな部屋に、二人はとじこ
られていたのだ。……どちらも、犬の姿となつて
動揺と感動を隠さぬ兄に、「どうせ夢なのだから
劣情と執着を隠さぬ弟。盛る弟と無知な兄、
雄犬二匹、狭い部屋に閉じこめられ
なにも起きないはずがなく――



※前作も今作もギャグ漫画では
ありません。

何も力からぬまま菊の花の純潔を
(犬の姿のまま) 散らす兄。
あられもない兄の姿を見、自分の
モノに過ぎたのだと歓喜と快感に
打ち震える弟。

けれどそれもただの夢。目が覚めたら忘れこしまう。
この甘い時も、兄の許容も。ああ、またこの夢のように
愛しい兄をどこかに閉じこめこしまえれ場いいのに。
次はどこに閉じこめこしまおうか？
考えずにはいられない弟、椿がこたが、
突如、その日は再び訪れたのだ。こた。
悦びに手を叩き、喜々として兄と身体を重ねよう
とした椿は、ふと動きを止め、違和感に首をかしげる。
「——兄貴、なんで俺とやる事に乗り気なんだ？」



to be continued



つばき...

つばき

あれ...?
ゆづる?!



おい、
おきろ

椿。

おす

あにき?



ちなみに
お前も
犬だぜ。

ふさ

犬になっているが
どうしてだ?

ああ
これか?

あれ?
お前!

理由だが、
お前面白いこと
考えてる
じゃないか

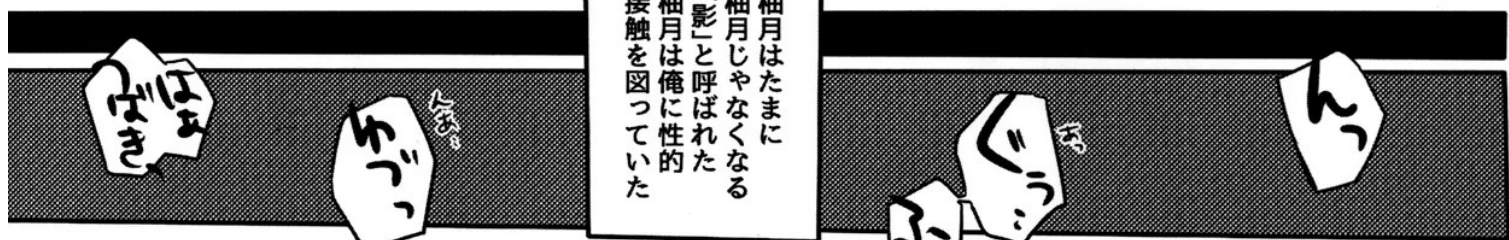


以前やったことを
ちいと、利用
させてもらおう
と思ってるな？

ところで久しぶりだな
椿。一発やらせてくれよ

いいだろ？

袖月はたまに
袖月じゃなくなる
「影」と呼ばれた
袖月は俺に性的
接触を図っていた



お前も
犬の姿で
犯したいとは

袖月。

お前等が
あまりにも
イイこと
してるからよオ

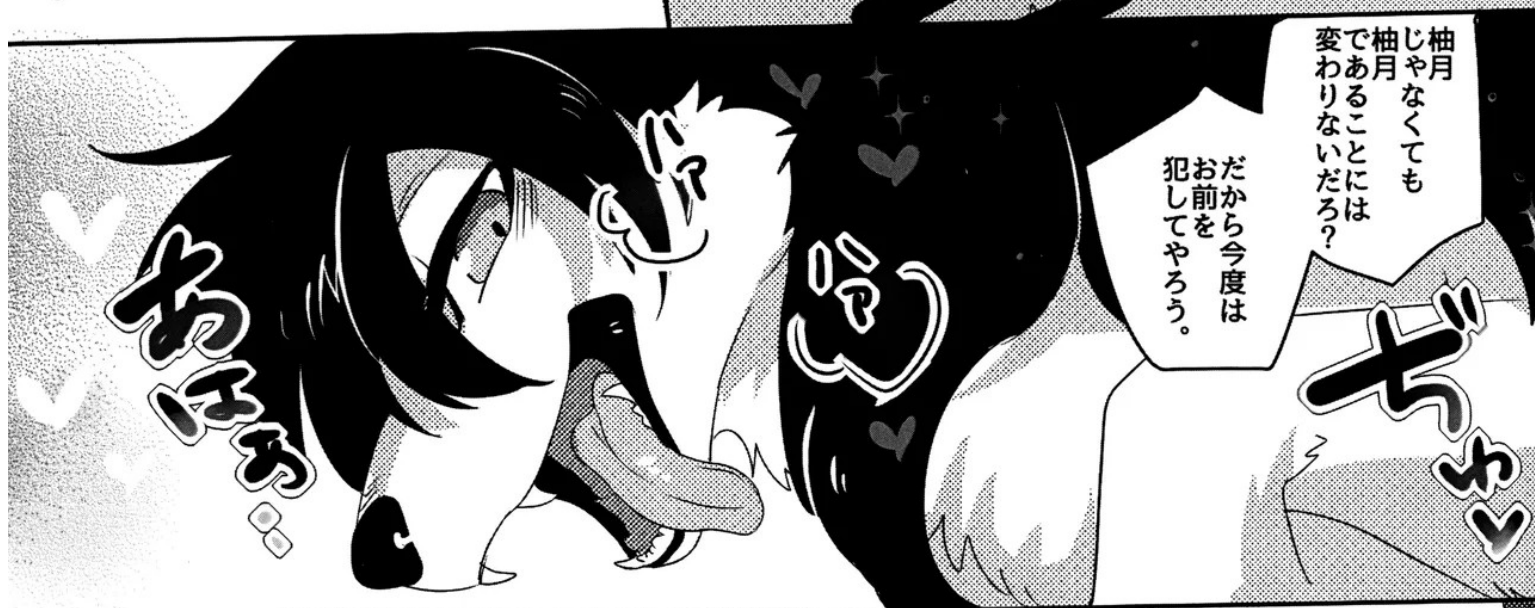
俺もお前と
こうして体を
重ねたかったんだよ

それが
どうした？



おお、
お前犬になっても
うめエんだなソレ

双子だから
イイとこぐらい
わかってるぞ



袖月
じゃなくても
袖月
であることには
変わらないだろ？

だから今度は
お前を
犯してやろう。



お前を
犯してやろう。

お前を
犯してやろう。





駄目だ：
相手が影の存在でも
柚月は柚月だ
すげエ盛ってしまう



なんだかんだで
ソコはやる気
みたいだなア？



はぁ..
ゆづる..
入れてくれ..



ゆづる..
どろお...



これがほしいんだろ？
どうして欲しいのか
言えはいてやる

びくびく

もうお前は
耐えられない筈だ。

俺のものになれ



何一人で
楽しんでんだよ？

そういうのは
お願いするの
が礼儀だろ？

どうだろう？



いい加減
俺を選べ。
あんな奴より
気持ちよくなれる

俺はお前が
好きだ。

ゆっ…ゆっ…
ちんじでっ

ドキ
ドキ

きゅん
きゅん
きゅん

きゅん
きゅん

きゅん
きゅん

あ…
ケツの中

めちやくちやに
してほしい…ツ!

あア…
望み通り
イれてやるよ

きゅん

おはっ…

きゅん
きゅん











俺を刻み込んで
やってんだから
当たり前だろ？

だからもつとよく
味わえよ？

はあ...



俺と一緒に
気持ちよく
なつてほしいんだよ

椿。

ああ...
すげえ
きもちいい

ハア...
ちやあんと
受け入れろよ

きんぐ

はあ



柚月の
精液...ツ！

すげえ、ケツに
入ってくる...！

てか、椿これ
いつとれんだ？
すげえイイン
けどどよ

自分で
ロツキング
したくせに
お前は！

まあ
そう言う
ことだな

あつ...！

納得
しないでくれ

三十分後...
やつととれた。



死んでる







お前は俺のことを
しっかり理解しているし
愛していることも
知っている。

さっきのも、その
悪くなかった

椿…。

それなら
俺を選べ。

俺は柚月も
お前もすごく
好きだ…。



それが
揺らぐことはない。
お前が好きだ。
お前を愛している。

俺のものだ…

だが。



ああ…
そうか。

チッ

すまない。

俺が選ぶと
するならば…

(柚月)
アイツを
選んでしまう



椿…
いつか絶対に
後悔させてやる

ニヤァ…



俺だけが椿の傍に
居てやるのが
できるのに
俺はアイツと違って
恋愛対象として
みているのに

ぎゅっ

ゆさ

ぐい

おっ

つばき

すきだ

ゆさ

はあ
はあ

抱かれて
やつてんのに…
結局俺は一切
見てもくれねえ。
ああ、許せねえ…

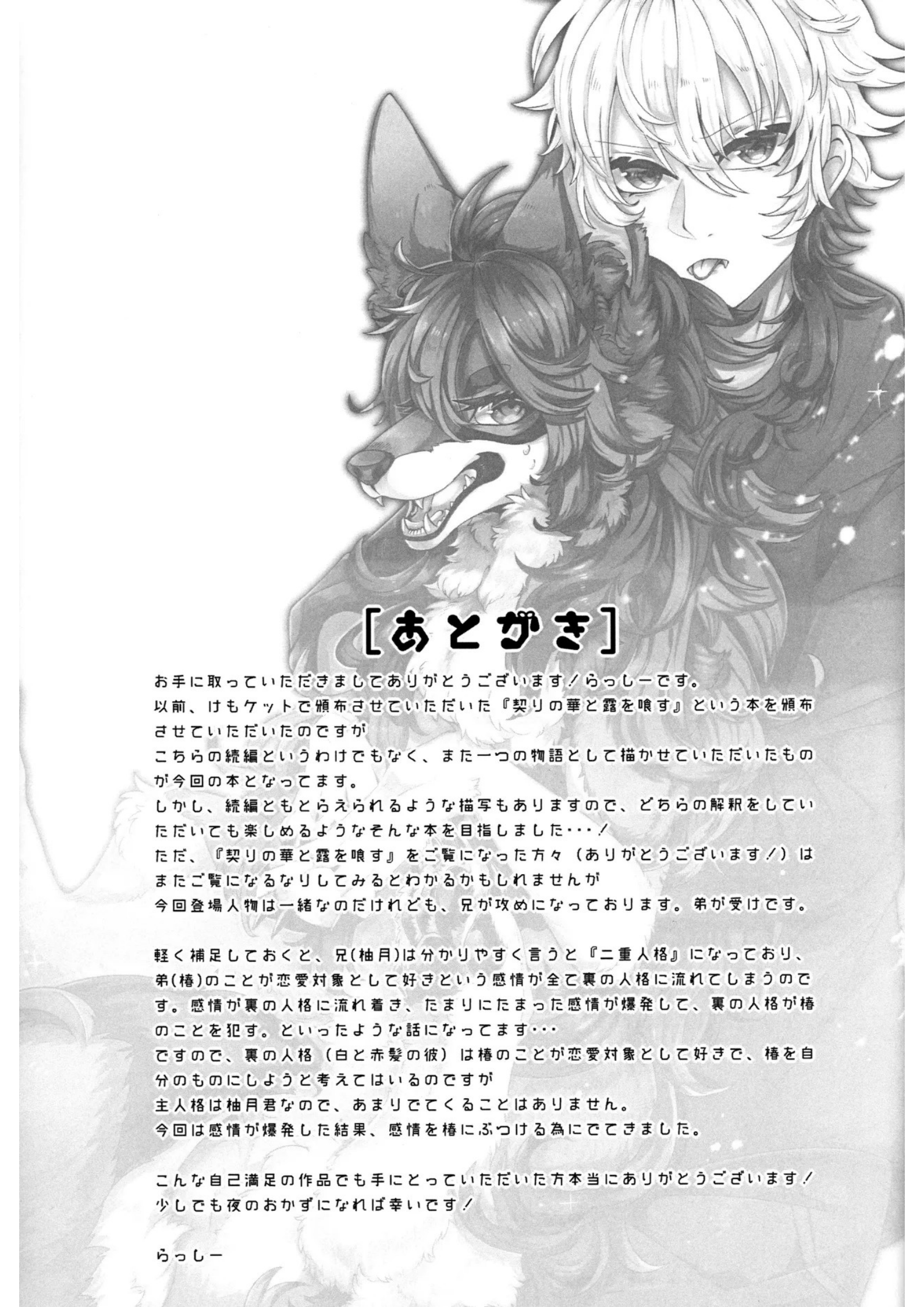
おっ
椿

ビクッ

でも、賢い椿が
あの出来損ないを
選ぶのはきつと…
アイツに
惑わされているだけだ。
だから…

袖月。

いつか必ず椿を
『俺のモノ』にしてやる



[あとがき]

お手に取っていただきましてありがとうございます／らっしーです。

以前、けもケットで頒布させていただいた『契りの華と露を喰す』という本を頒布させていただいたのですが
こちらの続編というわけでもなく、また一つの物語として描かせていただいたものが今回の本となっています。

しかし、続編ともとらえられるような描写もありますので、どちらの解釈をしていただいても楽しめるようなそんな本を目指しました・・・／

ただ、『契りの華と露を喰す』をご覧になった方々（ありがとうございます／）はまたご覧になるなりしてみるとわかるかもしれませんが

今回登場人物は一緒なのだけれども、兄が攻めになっております。弟が受けです。

軽く補足しておくど、兄(柚月)は分かりやすく言うと『二重人格』になっており、弟(椿)のことが恋愛対象として好きという感情が全て裏の人格に流れてしまうのです。感情が裏の人格に流れ着き、たまりにたまった感情が爆発して、裏の人格が椿のことを犯す。といったような話になります・・・

ですので、裏の人格（白と赤髪の彼）は椿のことが恋愛対象として好きで、椿を自分のものにしようと考えてはいるのですが

主人格は柚月君なので、あまりでてくることはありません。

今回は感情が爆発した結果、感情を椿にぶつける為にでてきました。

こんな自己満足の作品でも手にとっていただいた方本当にありがとうございます／
少しでも夜のおかずになれば幸いです／

らっしー



はなを
しよくした
華を喰した
影の露
かげのつゆ

おくづけ

【Spcial Thanks】

天里 柚月君
(μさんのキャラクター)

毎度ありがとうございます!頭が上がらない!



mail ✧ lomelette2@gmail.com

Twitter ✧ iga_lassie / Pixiv ✧ 73415

Writer ✧ らっしー (Lassie)

発行 ✧ 2019.09.22

印刷 ✧ ねこのしっぽ 様



▼ 近親相姦
▼ ♂ × ♀
▼ リバーシブル

しねて
ロレット